

## 令和7年度 公民館主事等社会教育担当者研修会

### 事例発表

#### 「学校・地域 そして行政が つながる ～国際交流協会の活動を通して～」

岩倉市社会教育委員 内藤 和子

令和7年12月2日（火） 愛知県生涯学習推進センター

1

### 岩倉市国際交流協会について

- ◆平成4年発足
- ◆会員…約150世帯
- ◆主な事業内容
  - ・ホームステイ事業  
(JICA、名古屋芸大、日本語学校との交流 他)
  - ・世界の料理を作つて味わう「世界のお惣菜」
  - ・日本語教室「岩倉ひろば」
  - ・各種セミナー、講演会
  - ・市事業の受託



など、様々。

2

Q : 国際交流協会は  
10歳になりました！

A : 国際交流協会って、  
いつ始まつたのですか？

A : 岩倉市国際交流協会が誕生をあけたのは、平成4年、  
五條川の桜の花がまだ残る4月19日の日曜日の  
ことです。発会式は岩倉市図書館の2階でとても盛大に行なったですよ。  
記念講演会やパブリックアート出展などのもちろんの祭りなどでも  
華やかでした。会長は当時から市長だった黒崎和さん、  
顧問は岩倉市商工会の会長だった栗本幸二郎さんに  
お願いして始まりました。

Q : 協会が始まつたのは何が  
きっかけがあつたのですか？

A : 良い質問です！当時は新聞でもTVでも「国際交流」と言う文字が目にこ  
こまり、あちこちで取り上げられました。市国際交流協会、団体会員の交流協会を  
発足させるという時代でした。平成3年に岩倉市制20周年記念事業が様々な  
分野で行われ、その一つの「国際交流事業委員会」を任された、たちがい  
たのです。この事業の中心テーマが「ホスピタリティによるまちづくり」で、い  
いろいろな国から来日している外国人や修生や留学生を岩倉市で歓待に招き、  
日本の生活を体験してもらい、お互いに友達になろうというやうなものでした。国際  
協力事業団（JICA）や国際センター（CBI）の研修生やホリゲーの  
留学生などを招きました。記念事業を終了するとき、この盛りあがりを協会の形  
で継承したいと、実行委員会の仲間が発起人となって、市民中心の会をスター  
トさせたのです。

3

## 目指した姿

- ◆行政主導ではない、市民による運営
- ◆多世代での活動（家族会員の形）
- ◆視点はグローバルに、実践は足元から

4

## 全ての事業に青少年が参加できるように！



「世界のお惣菜」家族で参加



イベントの準備をする高校生・大学生たち



外国籍の子どもの宿題を手伝う中学生ボランティア



「インドフェア」「タイフェア」などを開催

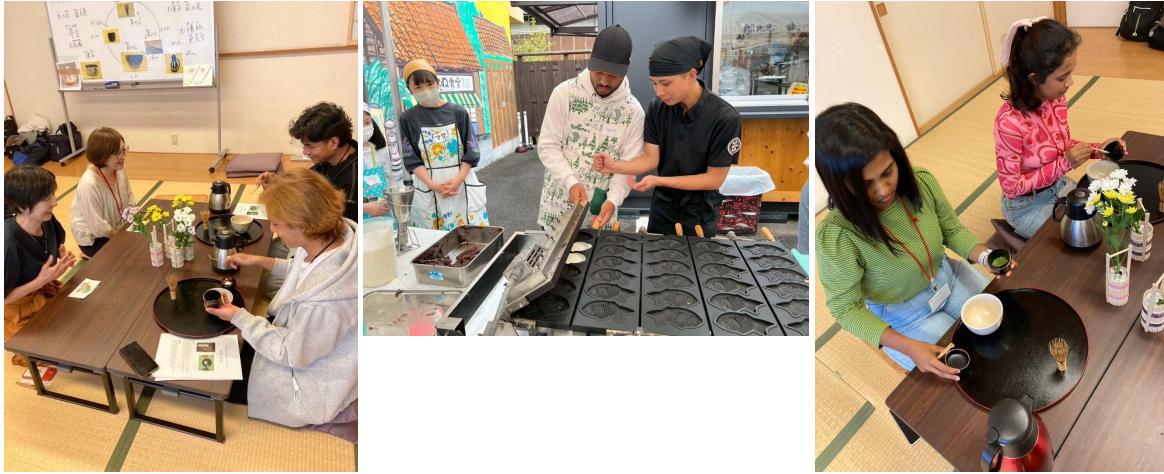
5

## 多文化共生を目指す 日本語ひろば・未来クラス



6

## 日本語学校愛知コトノハ学院の就学生との交流



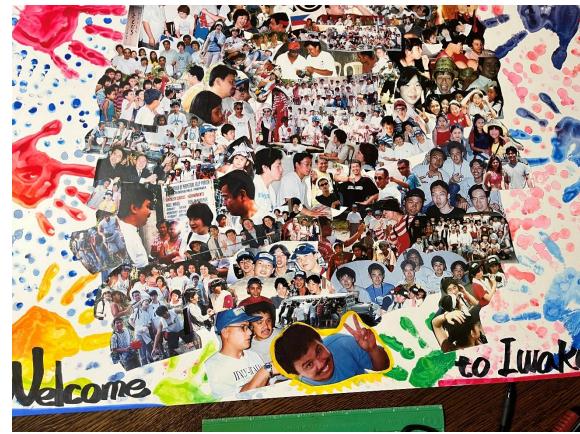
7

## ピナトゥボ地域（フィリピン）との交流



8

# 岩倉市制周年事業への参加 ～市制25周年～



9

# 岩倉市制周年事業への参加 ～市制50周年～



10

## 市の派遣事業（オーストラリア マレーシア モンゴル）



11

## 岩倉での手づくりフォーラム



12

## 市主催のタウンミーティングに応募

講座「ここで対話」を主催

